

目 次

I . 総括研究報告書

- HIVの潜伏・再活性化および慢性的免疫活性化を左右する
細胞因子・免疫応答の解明とその制御 1
研究代表者： 横田 恭子

II . 分担研究報告書

1. SIV感染におけるウイルス潜伏化機構とCTL応答 11
研究分担者： 山本 浩之
2. 粘膜・リンパ組織の抗原提示細胞への感染様式の解明 17
研究分担者： 五十嵐樹彦
3. 潜伏感染細胞の同定とその成立機構 21
研究分担者： 横田 恭子
4. HIVゲノムの潜伏化・再活性化に関わるエピジェネティック調節
機構とその制御 27
研究分担者： 渡邊 俊樹
5. HIV潜伏・再活性化に関与するウイルス蛋白と宿主因子の分子機構 35
研究分担者： 徳永 研三
6. HIV感染者における慢性的な免疫活性化とT細胞疲弊の要因 39
研究分担者： 立川 愛
7. HIV複製を自発的に制御する感染者群でのウイルス蛋白Nefの
機能と免疫活性化における役割 43
研究分担者： 上野 貴将
8. 慢性的免疫活性化制御因子の機能解析 47
研究分担者： 小柳 義夫
9. T細胞の活性化刺激とHIV感染制御 51
研究分担者： 田中 勇悦

III . 研究成果の刊行に関する一覧表 55